

夕風 総 集 編

クリムゾンコミック



6時間経過...

リュックはガラスばりの
部屋に監禁され
触手でイカされ続けていた



今
お前の飛空艇に
通信を
いれておいた

まもなく
ユウナ様が
やってくるぞ

こちらの
指示通り
一人きりでな

ユウナ様が
今のお前の姿を
見たら
どう思うかな？

どんな顔するのか
楽しみだ
クククク...

あーっ！

びるる
びるる

あーっ！

グキョ

グキョ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

ククク…
待ち遠しいなあ

あの
ユウナ様を…
……

想像するだけで…
クククク…

ダメ…ユウナ…
来ちゃダメ…

おっ
きつキツキツ
来てるキツキツ

じゃあお前を
イク直前まで
もっていとくか

いやあつ…

グキョ

グキョ

うる
うる

リユツク

.....!





.....

ユウナ.....!



.....!



リユ……
リユツク……

……



ダメ……イク……!

見ないでユウナ……!

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ



ユウナー人に
見られるのが
こんなに恥ずかしい
なんで……!

グキョ
グキョ



今までさんさん
いろんな人に
見られてきた
ことよりも……

クワッ

クワッ



モンスターの触手で
イキはてる
かわりはてた
リュックの姿は

ククク
どうかな？





ククク
おやあ？



……これは
あなたの仕事ね！



武器はいつさい
持ってこない
約束だった
はずだが……



オレを撃つたら
リュックも殺すぜ
いいのか？

ただお前の体で
遊ばせてくれれば
リュックは開放する

安いモンだろ？



……
それに……
申し訳ないと
思わないのか？

お前がのうのうと
ステージ上で
歌っている間

リユックは
違うステージで
何人もの男達に
犯されていたんだぞ

何十人もの
男にムリヤリ
イカされ
入れられ
申出しされ！

お前がライブを
楽しんでいる最中
ずっと酷い仕打ちを
うけていたんだぞ

ダメ……！

うそっ！
言わないで……！

今度はお前が
リユックを助けるため
辱めに耐えるべき
なんじゃないか？

……
わかった……

……
何をすれば
いいの……

よし
じゃあまず
カベに手をつけ

こゝこれが
終わったら
絶対リユックは
解放して
くれるんでしょうね

ああ
約束する

んん

夢にまで見た
ユウナ様のお尻たせ…

…



おおっ
いい感じに
なってきた

スツ

もともと
感度が
いいのかな？

.....

ヒッ

これが
世界を救った
女のケツか

さー
ー

お…おしりを
なでまわされるだけで
こんな感じるなんて…

ぶる
ぶる

んっ！

くっ…

にぎりにぎりにぎ

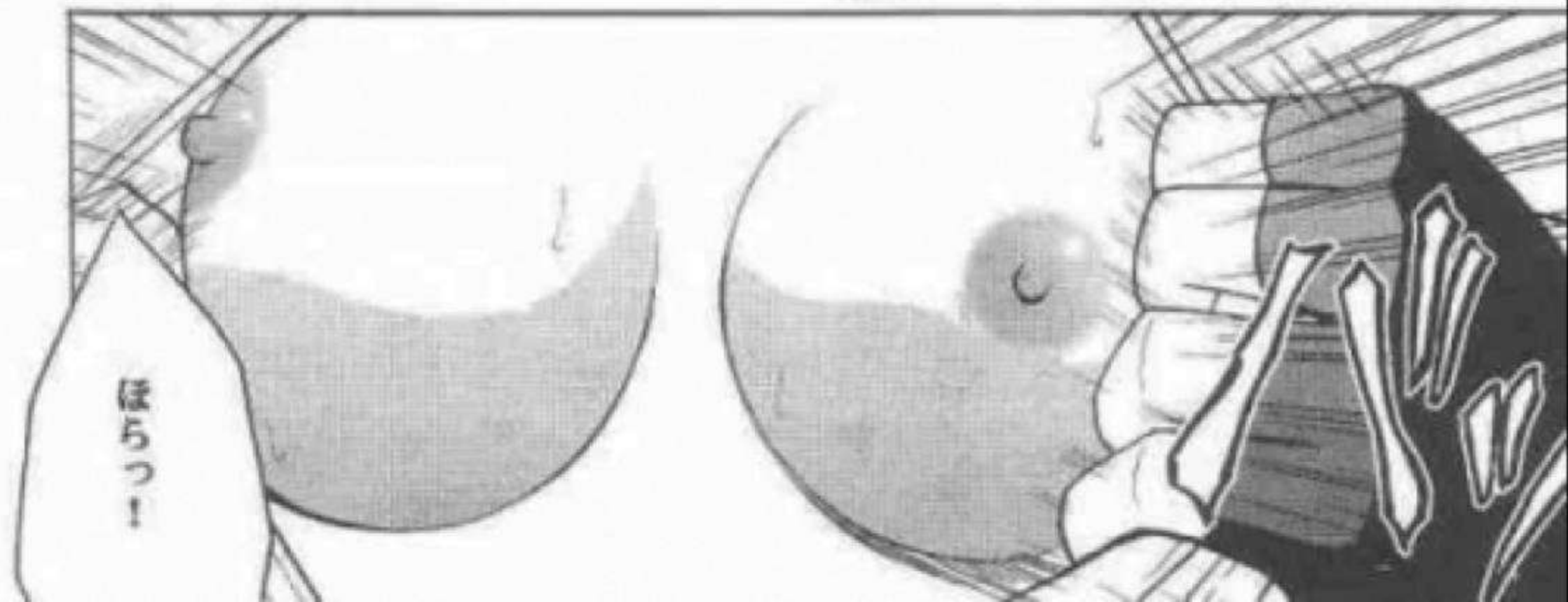
最高の感触だ

思ったとおりの
手触り

思ったとおりの
弾力…

ぶる
ぶる

……



へへへ
ユウナ様の
胸だ……!

キ

キ

キ

キ

……

これも
リュウツクのため……!

キ

耐えないと……!

キ

キ

キ

んっ!

まずは
ケツと胸だけで
じっくりと…

さわ

さわ

くじ…

きん

きん

きん

んっ！

びる
びる

さわ

さわ



んっ!!んっ!!んっ!!

膝まで愛液が
たれるほど



しつこく胸と尻だけ
責めてやるぜ...

んっ!!

んっ!!



ムネと尻ばかり
20分も揉まれて
おかしく
なりそうか？



でもまだまだ
終わりじや
ないぜ





へへへ…
予想通り
ヌルヌルだ

……っ！

グキョ
グキョ

んっ……

シッ
シッ

シッ
シッ

シッ
シッ

シッ
シッ

シッ
シッ

シッ
シッ





アッ!

グキョ

グキョ

あッ!

おっと
後ろの穴にばかり
気をとられてたら
ダメだぜ

マ○コにも
指が入ってるん
だからよ

ひっー!

グキョ

グキョ



びりびり
びりびり

びりびり

びりびり

びりびり
びりびり

びりびり
びりびり



んっ……

ジーン
ジーン



……

グキョ



……

ようし
そうだ
そのままだぞ



おい

そのまま手を
あげろ



……

足も
もっと開け



あああっ！



ユウナ様はお尻のほうか
反応がいいねえ



くろくろくろ！

フィル

フィル



そこだけは…
許してっ……！

やっ……
おしり……ダメッ！

グチュグチュ
グチュグチュ



手は上げておけって
言っただろうが

次
勝手なことしたら
許さないぞ
ああん？

やっぱり
大召喚士のユウナさまは
何も知らないけど
日な素質を秘めた
女だったな

んんっ……!

ふる
ふる

想像通りの
乱れっぷりで
うれしいよ
クッククック……

んんんっ……!

グキョ

あああっ!

グキョ
グキョ

ん~~~~~!!

びる
びる

グチュ

グチュ

グ

グ

お前はオレの
いいなりになるしか
ないんだからな

その一番
ガマンできない姿勢で
ガマンし続けるんだ



.....

お前

お前

お前お前！



ああああ

びる
びる

グチュ

グチュ

ビュ

ビュ

ビュ

!

それから
ユウナとリユツクは
ガラス板一枚へたてた
空間で



お互いに恥ずかしい姿を
見せられながら
何度も互いに
イカされ続けていた...



ほあ

ほあ

ほあ

さあもう一度
腰に手をつけて

フィル

フィル

お尻も乳も
マ○コも
十分たんのう
したし…

んっ!!

んっ!!

んっ!!

ユウナさまも
何度もイッた
みたいだから…

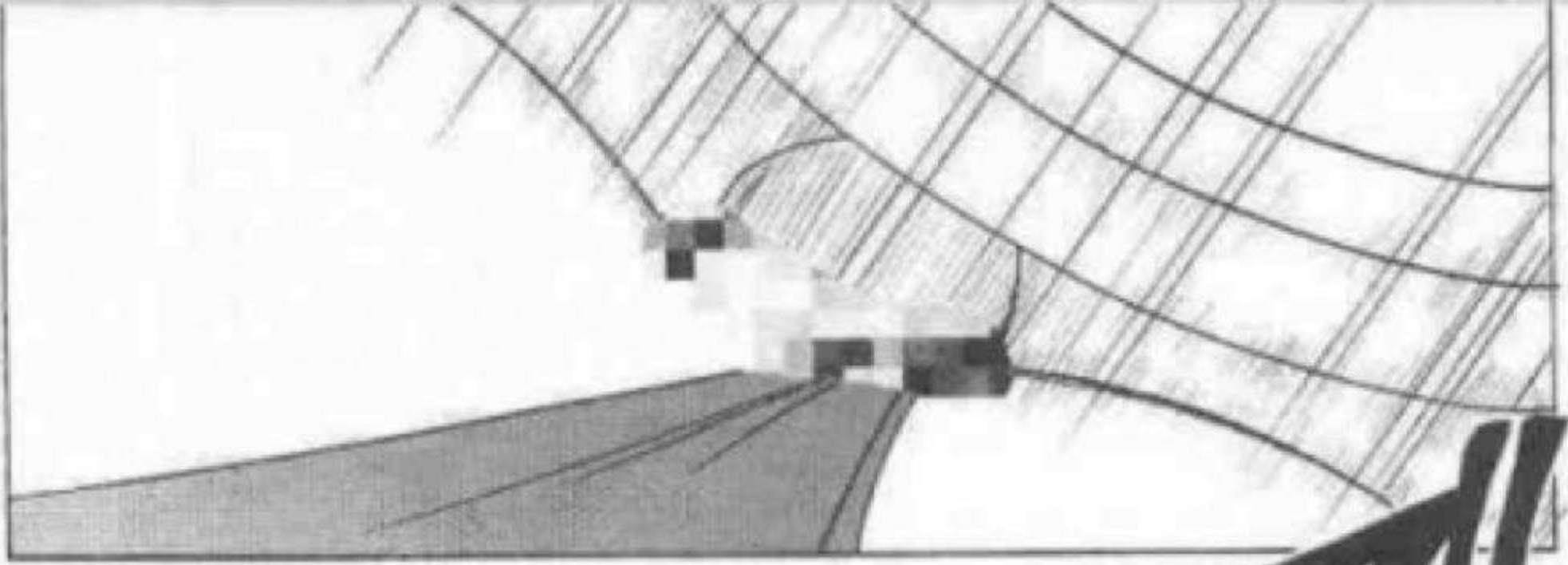
んっ!!

んっ!!

そろそろ…
ラストと
いくか…

びるびる





あああ
ああっ！

アッ
アッ

アッ
アッ







ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ジーン
ジーン

ダメ

ダメ

くっ

さして
中に出すか...

ダメ
ダメ

へへ…いらせ
今からなら
抵抗しても…

この
バックから挿入されて
中をかきまわされてる
状態で
何かできるのならば

…じじじじ

……ツ

く…

あ…

びる
びる



全部
受け止める

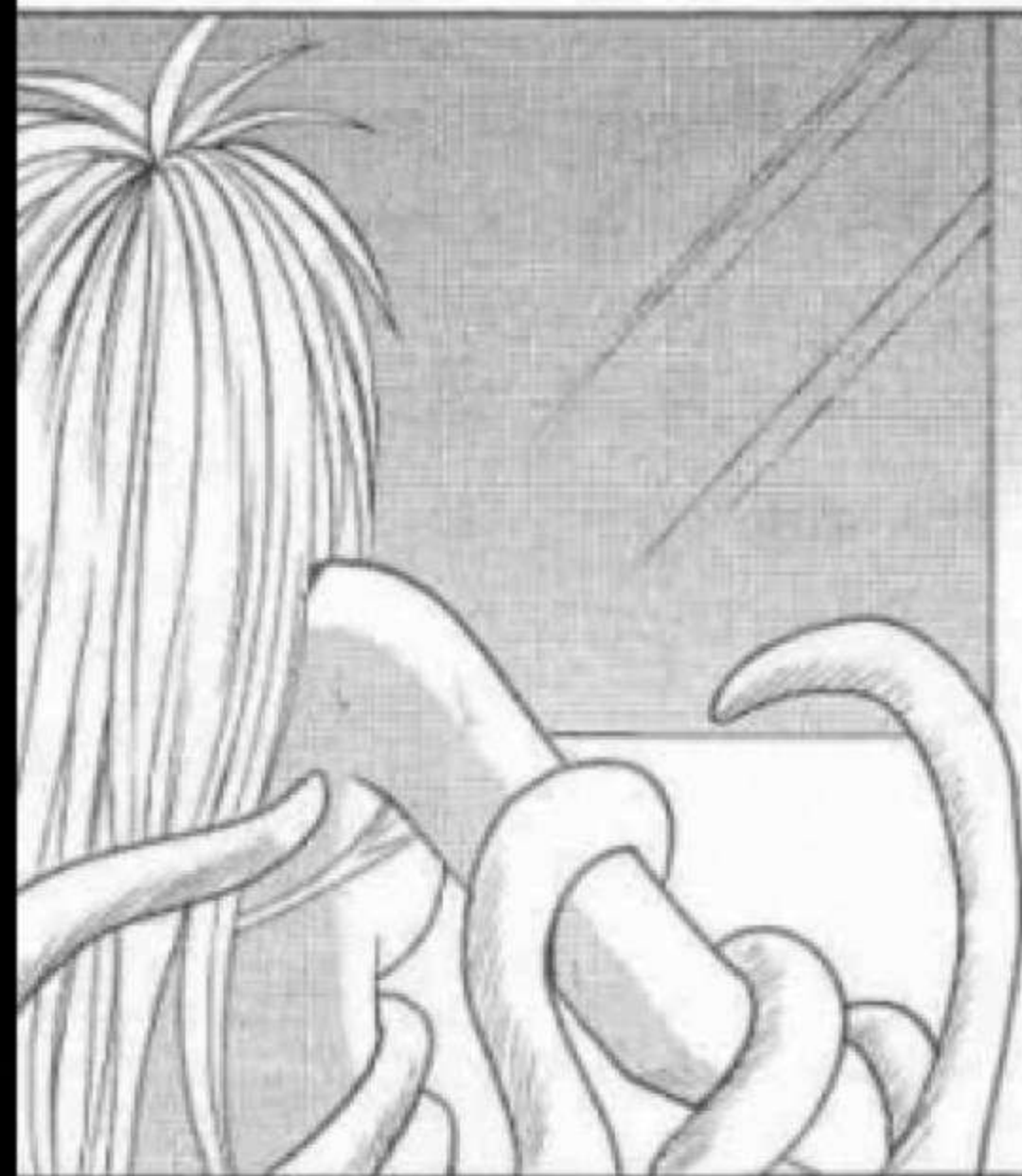
いやああ
ああっ！

じい
じい





終わりだ



ふるふる





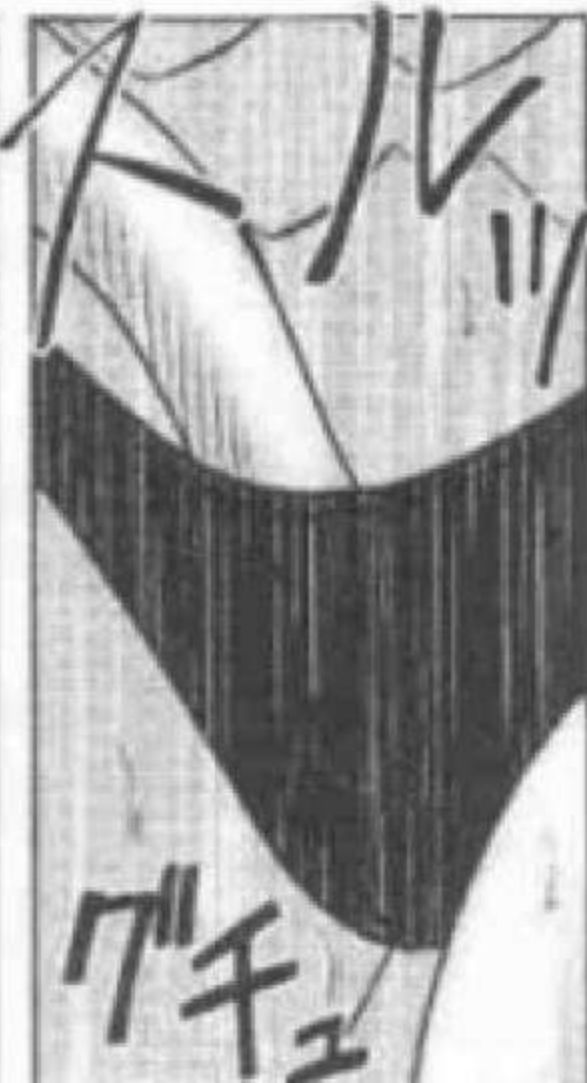
.....!



.....!



んんっ!



グキェ



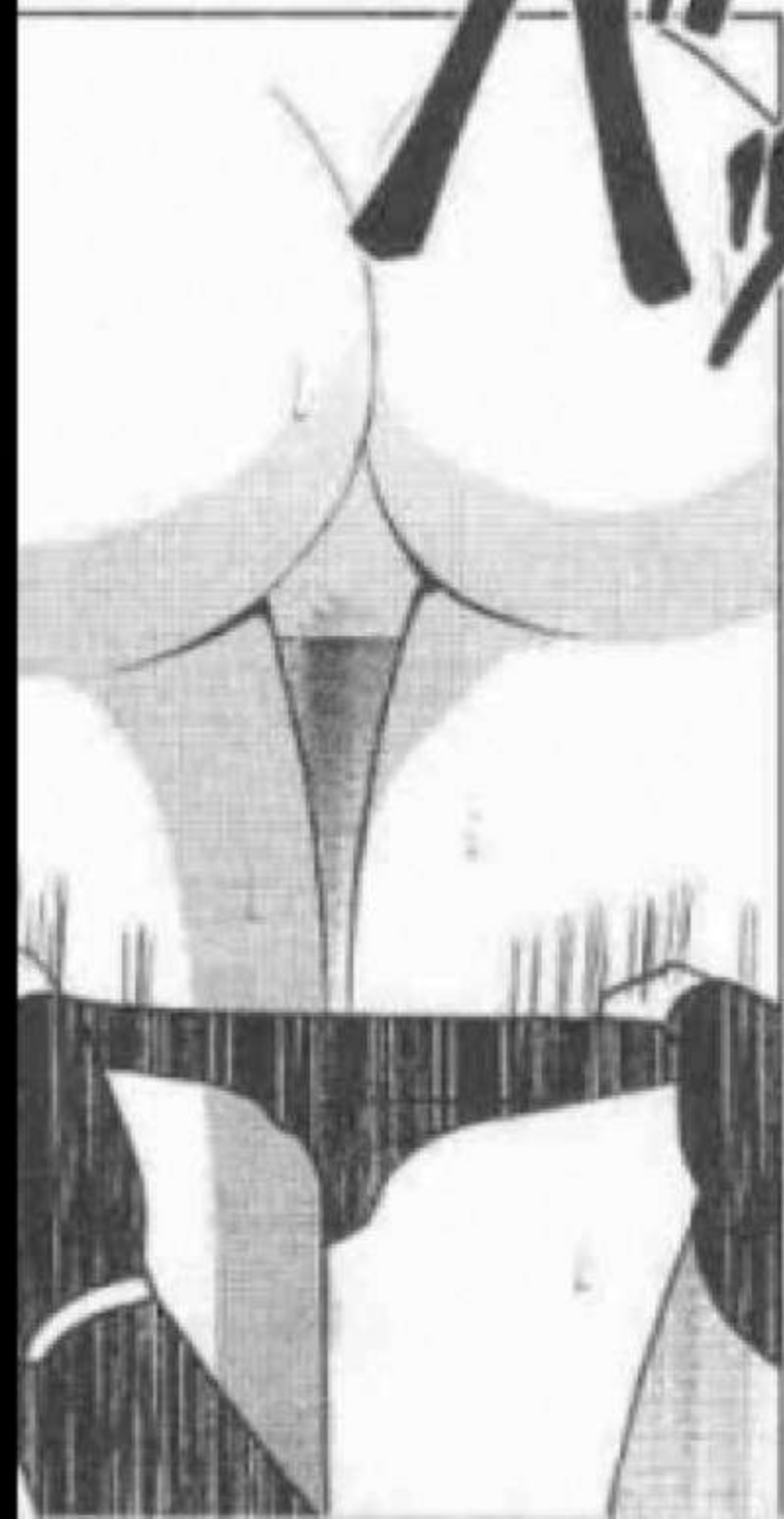
ユウナっ!



ククク...

こ...
こんなッ！

約束が...
違う...!!



.....!



ああそうだな
約束が違うな

だから
もう銃を拾って
反撃しても
いいんだぜ

あつー

やい

くちゅ

びる
びる

くっ

くちゅ

やめて……

あつやい
あつやい……

さて
ユウナ様の
アナルパーションも
いただくか……

アッ

アッ





即座退治

バム

アッ

リユツク...

はあ...
はあ...
はあ...

ククク...
最高だな

グキョ

グキョ

グキョ

はあ...
はあ...
はあ...

グキョ

根元が尻肉に
密着する感覚が
たまらないぜ

ああああ...



ほらリュック

お前も気持ちよく
してもらえ



ああっ！



召喚士様とガード
二人そろって
尻の穴でイキな

あっ！

あっ！



ククク
ククク

ククク
ククク

ククク
ククク

ククク
ククク

ククク
ククク

その後
二人は
後から侵入してきた
パインらによって
救出された



あの日…

マカラーニヤの森で
キミと肌を
あわせて以来



二年…

あれから
私の体は……

誰にや……



消えゆく美しき思い出

作 / カーマイン



マカラーニヤ湖
.....



ここに来ると
どうしてき

キミのこゝを
思い出す



#111116

たった一度
だけの…

ねむくさみ

私……

私まだ

あのときのこと
思い出すだけで……

スツ

びびっ

……

スッ

ほあ
ほあ

キミの指
だつたら...

くちゅ

ああ!!
この指が...

ああ……
ティーンダ……

ティーンダ……

ふる

ふる

くちゅ

くちゅ





<><>...



こんなところで
生ユウナ様に
会えるなんてな

な...何ですか
あなたたち

ギシ

ついてるぜ
オレたち

自慰なんか
してたから
完全に
油断していた...!



大召喚士の
ユウナさまが
こんなところで
何してるんですか？

どうしよう
武器もなにも
もってきけてない…



オツパイも
見えそう
ですよ！

やつ！



しかも
こんなやらしい
格好で…

きやつ！

さわ

くくく
ららら
しんしん
ごんごん
あーあー



ギ
シ
ギ
シ

さあ

さあ

あーあー

な…何を
するんですか！
やめて
ください…！



ギ
シ
ギ
シ

何
言ってるやがる

やめるわけ
ねえだろう？



ユウナ様には
この日な体で
たっふりと
お返しをして
もらわないと

ギシ

オレら全員
ユウナ様には
恨みをもって
いるんだぜ！

やっー

さわ
さわ

ズツ

グツ

グツ



俺らはもともと
盗賊だったのよ

シンに荒らされた
村や町を狙う
専門のな

でもアンタが
シンを倒したせいで
オレらはもう
ダメになった
さっぱり仕事
がうまくいかねえ

ギシギシ

儲けからなく
なった分を
アンタの体で
返して
もらわねえとな

そ…
そんな!

あなたたち
最低です!



へへへ
何とでも
いいやがれ

もみ

みんな本当に
真のナギ節が
くるのを
楽しみにしてた！



だから私は……

それなのに
あなたたちは……！

生ユウナ様の
生乳を拝見して
よろしいでしょうか？

やつー！



なんで
大召喚士さまが
こんな日な服装
してるんですか？

欲求不満
ですかあ？

こんな服じゃ
レイプされても
文句言えませんよ

ち…違う
これは…

そらちー

ギシ

ギシ

ハッ



生ユウナ様の
生乳だぜ！

やああっ！

ヒヤハハ！



まもっ！

おやおや
すいふんど
感じてますね！



あっ！

ヒヤハハ！



もったきつと
酸っぱ
あげましようか？

あー！！

グリ
グリ

さつきまで
一人でしてたから
体がほてつて……！！

ほめ
ほめ
ほめ
そうでなければ
こんな無理やり
されて感じたり
なんかは……



そろそろ
生ユウナ様の
生マ○コを
チエックさせて
いただきますようか

やっー



ギンギン...
ギンギン...
グッ...

ギンギン
ギンギン

グッ
グッ

グッ



まだ
濡れたままで...

グッ...
グッ...



ダメッ!
そこはさっさきの
自慰のせいだ...

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



や……いやー

ギシ

こんなに濡れてるのが見つかったら……

ギシ

グツ

おねがいー

ぢやあー



なんだかみように湿ってますねえ

やだ……いやだ……!

へへへ
おい
本当かよ

よし
地面におろして
念入りに
チェックしねえとな

やっー

足しっかり
開いとけよ

んんんんんんんん

フィル

.....

んんんんんんんん



これは
何ですか？
コレは？

……

……



言えないよ……！
二人でしてた
からだなんて……

恥ずかしくまる……！



ち……違う……！

やっぱり
大召喚士さまは
欲求不満
なんですかねえ

それとも
レイブされるのが
スキなんですか？



自慰を中断され
火照りきっていたユウナの体は
もはや自制ではどうすることも
できなかつた



グチュ
グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

グチュ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

んっ!!

屈辱を味わいながらも
すでに愛液を溢れさせていた秘裂は
見知らぬ男たちの指を
素直に受け入れて
淫らな反応を示すのみだった

あ...

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ゴゴゴ

ジーン

!!!

ジーン





おやおやおやおやおやお



おやおやお どうしましたか?

やっー
ぎっ...ぎっ...

ひよっとして
もうイッチャい
ましたか?

フィル

フィル



最低十回は
出させて
もらいますよ

いそぐらう
もんじ

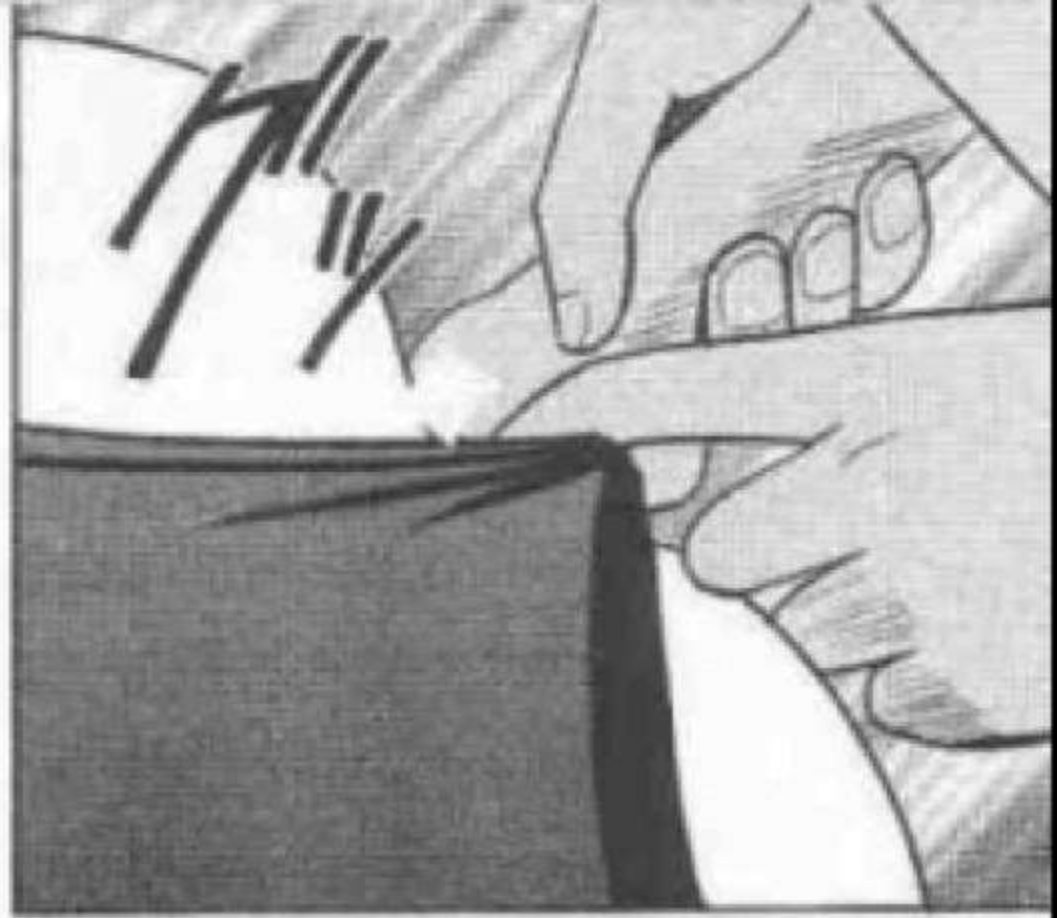
グイ
グイ

うそっ……！
ダメッ！

びる
びる

んんっ！

んんんっ！



二度目のセックスが
こんな形になる
なんて……

そんなの
絶対に……!



ほらほら
もう逃げられま
せんよ……つと

グ
チ
ユ

んっ！

おっと
もう出ちまった

まだまだ
終わりませんよ
ユウナさま

びる
びる

グ
チ
ユ

らっー



おやおや
ユウナ様？

意外と
気持ち
よさそうですね

グチュ

んっ

グチュ



この場所で
されると
どうしても

あのときの「」とき
思い出して……
それだけで……！



ダメ……
こんな人たちに
無理やりされて
イヤなはず
なのに……！



びる
びる

!!

びる

ほら、
まだ始まった
ばかりですよ

くやしい…
ダメだよ私…!!

じり
じり

ダメツ!

あつ!

これ以上は
もう…ツ!

アイツ

本当はキミと
もう一度

んっ

ジュジュ……

びる
びる

ビュッ

くっ……

なのに……
なんでこんな……

グチュ

グチュ

処女じゃねえ
みてえだな

誰にやられ
たんだ？

キッ

……！



あ……あ……



んんっ！

びる
びる

びる

ティードダのことを
思い出すと余計に……！

びる
びる

チユ



ダメ……！





ズツちぢりー!

イカされる……!



体が勝手に……!

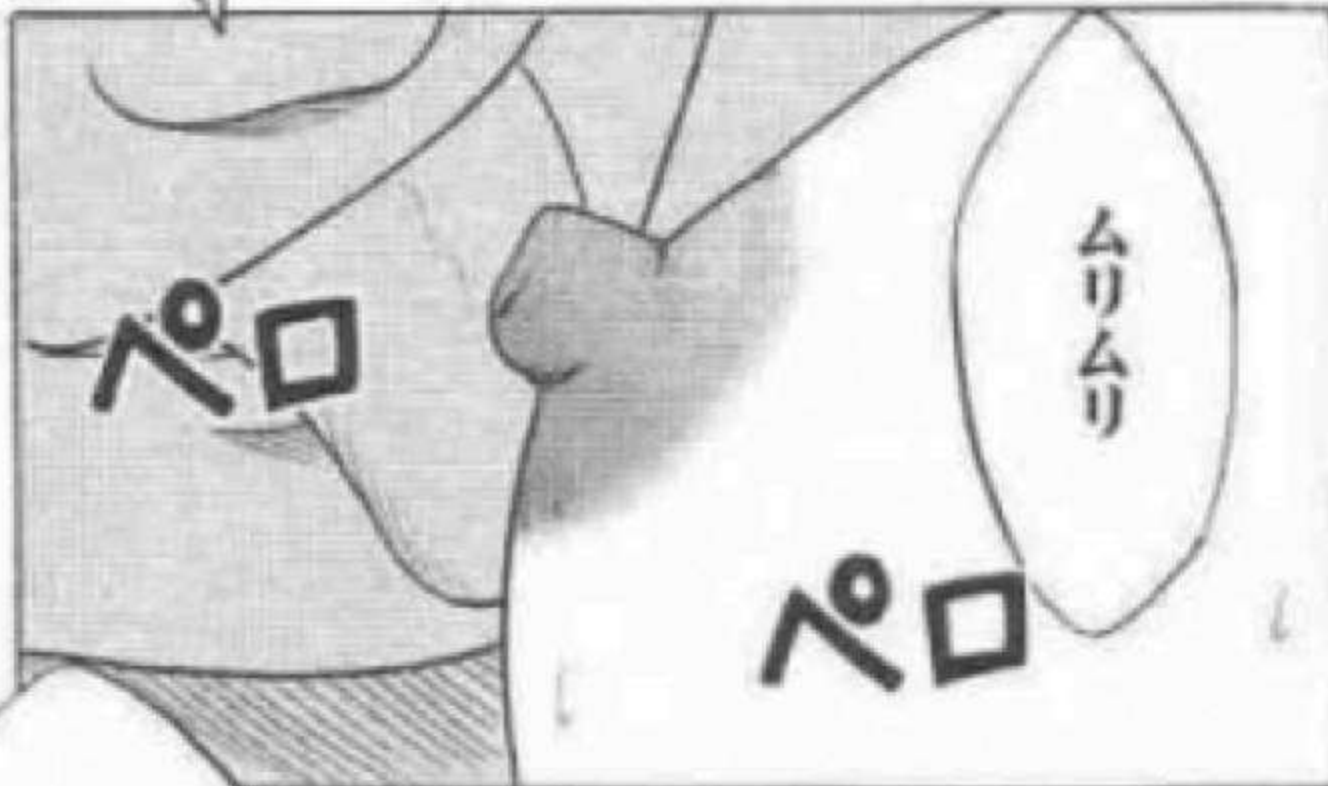


グググ

やっ！

びるびる

やだっ！



なんだあ
急に抵抗が
激しくなったぞ

そうそう
もう抵抗は
ムダですよー





グキョ

グキョ

グキョ

ああああ

グキョ

グキョ

グキョ

これ以上思い出さ
汚さないで……!



最低だ……私……

ごめんなさい……
テイーダ……





ユウナ!



ユウナさん
落ちちゃったよ...
どうして...

せんのおくほう

千の欲望





あーん...

会えたね...

本当に...

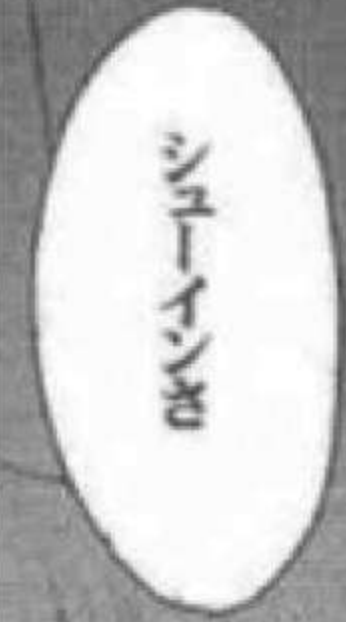


キリシタさん

ああ
俺さ



シムーンマン



待てよシムーン
マン



.....

ムーンマン





本当にずっと
待っていたんだ

ズッ



おや
どうしたんだい？

千年ぶりだから
恥ずかしいのかい？

大丈夫だよ
レン...

やうー

グッ



……

……

何!?

アア

入ってくる……

おあっ

あ……!!

誰の気持ち??

アムギ

ドレスフィアの影響なの??

以前にも
このドレスを着ると
体が……

レンも千年ぶり
だろうか？

ふるふる

また...

くちゅあ!!
体が勝手に...!!

ゲキョ

ゲキョ



これ以上
気持ちが入ってくるよ...

びびる

あー！

あー！

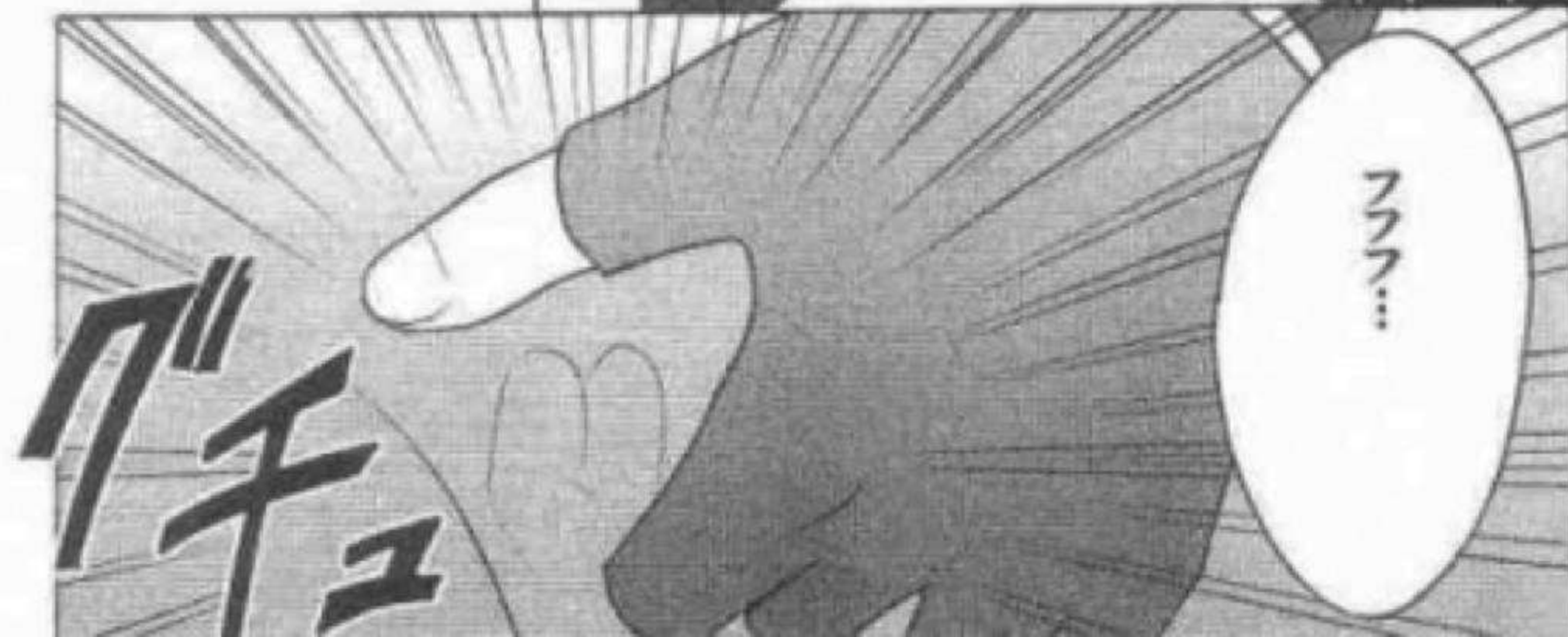
私...レンじやないの...！

びびる

私...私...！

あー...あー...

びびる



ほら
やっぱり

ダメ…私…

ぶる
ぶる

く〜

グキョ

グキョ

この人とじゃイヤ!

キミとじゃなきや
イヤ……!



お前は
レンじゃない...



あー！



なぜお前が
レンと同じ衣装を
まとっているのかは
知らないが

お前の体に
千年たまったものを
ブチまけてやろうか

びる
びる

びる
びる

びる
びる



うやう

うやうやう



ダメシ……!



ああ!!



グキョ

だめっ
どんだん
支配されていく

グチ
グチ

グチ
グチ

グチ
グチ

グチ
グチ

あー！

誰かの気持ちが入ってきて…

ぶる
ぶる

感じたくなんかないのに…

グチ
グチ

ぶる
ぶる



...Just

ズズ
ズズ

ズズ

ズズ

ズズズズ!!!



ダメだ
もうやめない

お前が
悪いんだ

ビクッ
ビクッ

ビクッ



こ……こんな人を二瞬でも
キミと見間違えたなんて……

ズッ

やあああ
あつ！



んっ！

グチュ

んんっ！

グチュ

ダメッ…
もう止まらない…！！

このドレスが
いけないの…？

おねがい…
もう快感を
強制するのはやめて…！！



!!
!!
!!

!!
!!

!!
!!

!!
!!
!!
!!
!!
!!



それは私が
召喚士になろうと
決心したときの
ことだった……

ねえルールー

大事な話が
あるの……

……

今晚
ルールーの部屋に
行っていいかな……



部屋に入るなり
私はいきなり
口をふさがれた……



こういうことを
されるのが
初めてだった私は……

もみ

もみ

クチュ

クチュ

ギシ

ギシ

なす術もなく
弄ばれるだけ
でした……



そして
結局……

何も言わせて
もらえませんでした……

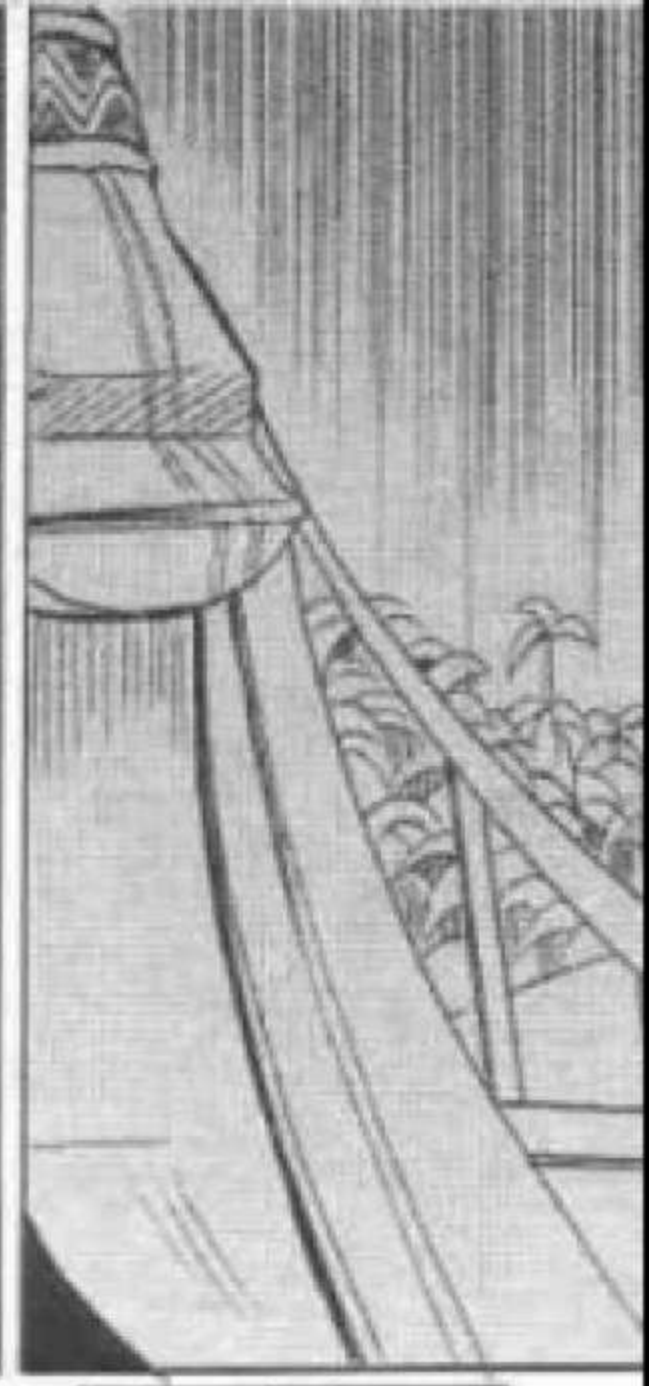
愛の街

あいのこけろくす



今夜も
かわいがってあげる

さあ
ユウナ……



疲れ果てて眠るまで
責められつづけ
起きたらまた
責められる……

それから
十日間
そんな日々が
続きました……



あ……

今日はちゃんと
話を……

やつ……お願い
ルール……

スッ



ほら何
抵抗してるの

そのソファア
手を置きなさい



.....



.....はい

ルールには
逆らえない...



またいつもと
同じパターンだ...

やっ.....



スッ

びくっ

あっー

きゅきゅ
らん子は...

ギシ

ギシ

ギシ

今日もどっつき
いい気持ちに
させてあげるから

もみ
もみ



やっ！



っ…



ユウナは背中が
敏感ね…

んっ…！



やっー

あっー

ユウナ……
私に逆らったら

ダメだ……
このまま読されちゃ……

今日こそは
話を聞いて
もらうんだから……

どうなるのか
分かってるのか？

今からあと三回
逆らったら
縛るからね



フフ…
そうそう

大人しくしてれば
いいのよ

もう縛られたく
ないでしょう？

以前一度
激しく抵抗
したために

縛られたことが
あった……

あのときは
酷かった……

体中にクスリを塗られ
なんと絶頂に
突き上げられたか
分からない……

ほあ

ほあ

クリ

プロ

キ
エ

ア
ル

ア
ル

ア
ル

ほあ

ほあ

ほあ

いや……
思い出したくもない……

グチュ

グチュ

ギシ

ギシ



あーっ



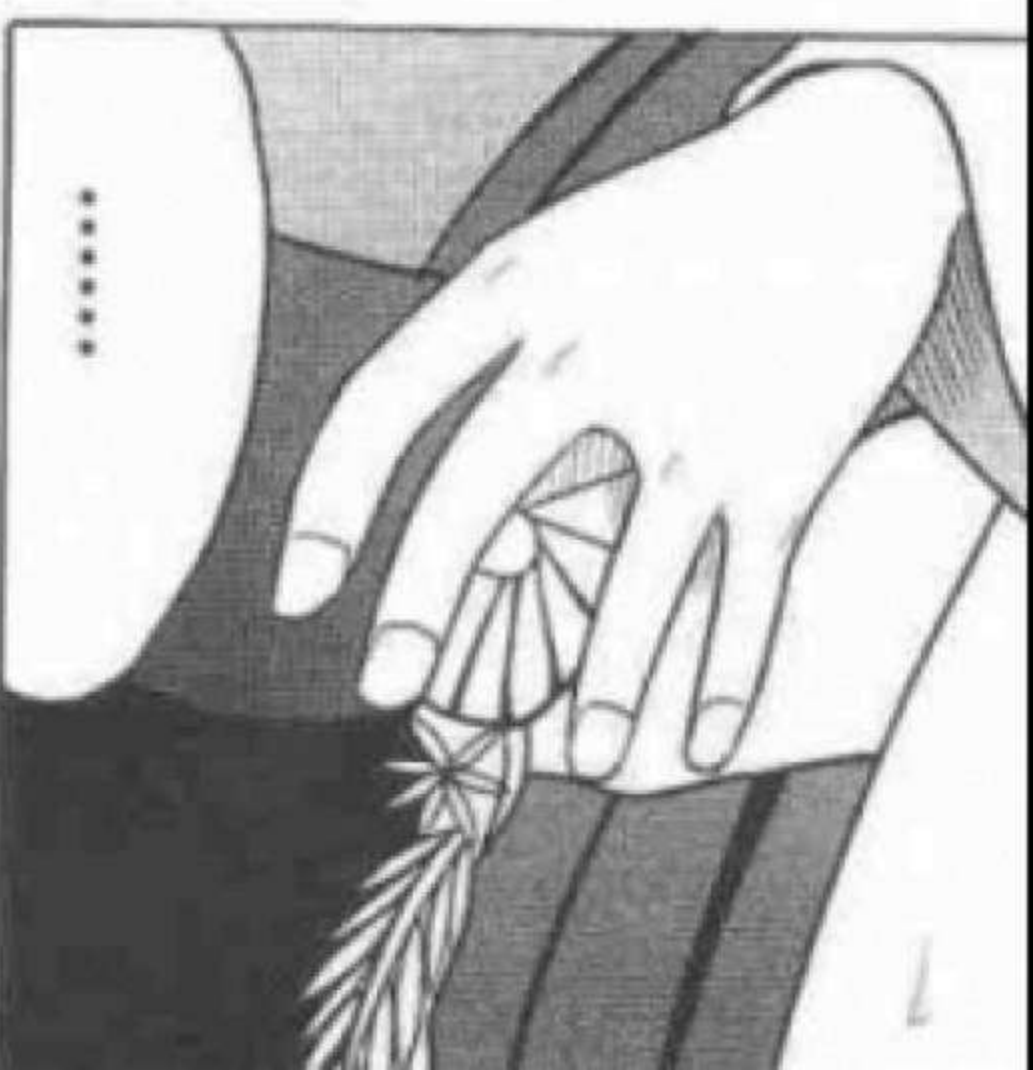
イヤでっしょ
……

縛られるのや
……



抵抗
したわね……

これで
あつていいわ



……

ごやごや……



ごやごや……

口ごたえ
したわね



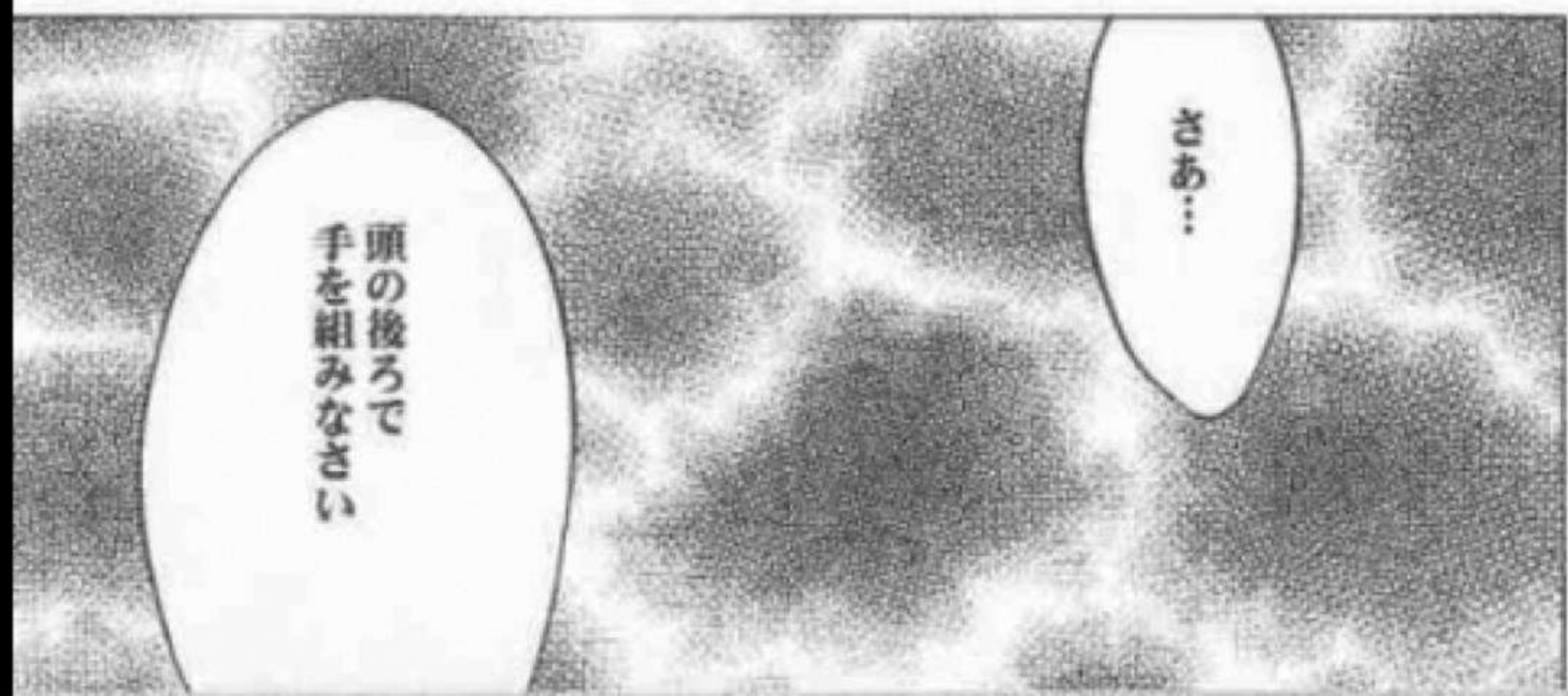
あと一回遊ばうとしたら
拜るわよ

……!



さあ……

頭の後ろで
手を組みなさい





ユウナはただ
私の言うことを
聞いていれば…

そうそう
それでいいのよ

ピチャ

ピチャ

轉られるの
だけはイヤ…

もうルールーに
逆らえない…!!







……お……

……お……
……お……



今日はクスリを
いっばい塗ってあげるわ

うた……



あ……

!!!



ブーン

ブーン

アイル

アイル



おっ……

やっ……

なま……

こんなモンじゃ
足りないって？

ほめ

ほめ

うん
うん
うん



あつー！

ああつー！

キニキニ

かわいいわ
ユウナ……

でもまだ
イつつちや
駄目よ……

ダメ……！

今日もまた
このまま
何も言えずに……

クチュ
クチュ

ドクッ

どんなに
心では抵抗
していても

あああ！！

グチュ
グチュ

何度も何度も
イカされていた
私の体は……

ルーラーの指と舌の
いいなりに
なっていました……

あら？

まだイツちゃ駄目
って言ったのに…

……！

勝手に
イツちゃったわね？

ド
キ
ッ

これで三回目

言ったでしょ
三回逆らったら
どうなるか…

約束どおり

縛らせて
もらうわよ

えっ……？

ギシ

ギシ


だって…
今のほ……

ド
ッ




どうして?

どうして?
ルールー……



いつも
怒ってたけど
優しかったルールー
……

大好きな
ルールー……



何でこんなことを……

んんっ!!

もう好きなだけ
抵抗しても
わめき叫んでも
かまわないわよ

ギシ

絶対
解放して
あげないけどね

んっ!!

フフフ…

グ
チ
ユ

フ
フ
フ...





それから数時間の間は
よく覚えていない……

オシリの穴で
イけるなんて

初めてのことでは
上出来……

それほどに
激しい責めでした……

ギン

んっ!!

ギン



わーわー



わーわーわーわー



わーわー
この髪が



触れたところが
すごく敏感に
なるでしょ？

これをユウナの
一番痛いところだ
あてると
どうなるかしら？



わーわー



サッ

バツ

ギシ
ギシ



やっほり
触れただけで
イキまくりぬ

はああっー

機械の力で
イクだなんて

エボンの教えに
反するんじゃない？

あっ……っ……
あっ……

やっ……あ……
あああっ！





その口は

私が気絶するまで
責めつづけられました……

でも……
結局それが最後の愛撫でした……

私……

召喚士になる……

ごめんなさい
ルールー

……

……
私……
やっほり……

……
そう……

じゃあ
せめて……

あなたのガード
させてね……

後にあのときのことを
「シンの毒気にやられて
陥乱していたの……」
「ごめんなさい……」
と語ったルルル

でもあれは
ウソだと思う……

ルルルはきつと
刹那的な快楽の世界で
私を現世につなぎとめようと
したのだと……

私が召喚士になるのを
止めようとしたのだと……

そう思う……





あああああ

アッ

アッ

アッ

アッ

愛のコケラくず! 手の欲望、ユウナリュックダブルハードのユウナパートを収録。描きおろし12ページ!

クリムゾン発行のユウナ同人誌総集編。・18歳未満の方は購入できません